

第二期小平市国民健康保険データヘルス計画 令和元年度実施状況の概要

1 計画について

(1) 計画の位置づけ

「国民健康保険法に基づく保健事業の実施に関する指針」に基づき、健康・医療情報を活用した効果的かつ効率的な保健事業を実施するため、平成27年3月に策定した第一期データヘルス計画の評価を踏まえ、平成30年3月に第二期データヘルス計画を策定した。

(2) 計画期間

平成30年度～令和5年度までの6年間

2 実施事業について

事業	概要	成果
(1) 特定健康診査	内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目した健康診査であり、未受診者に健康意識に合わせた通知を送付し受診勧奨を行う。 特定健診未受診者に対して集団健診の受診勧奨を行う。 人間ドック等の受診者に補助を実施。	送付後の受診率 40歳新規：21.6% 前年度未受診者：51.7% (特定健康診査受診率：47.2%) 集団健診：652人 人間ドック助成：853件
(2) がん検診	がんの早期発見・早期治療を図るために検診を実施。 一部の検診は、特定健診と同時受診の勧奨を実施。	受診率(対象年齢の市民) 胃がん：3.9% 肺がん：5.8% 大腸がん：23.5% 子宮頸がん：13.5% 乳がん：17.9%
(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業	生活習慣病関連の検査項目に異常値があるものに関わらず医療機関への受診が確認できない対象者に、各人の特性に合わせた受診勧奨を実施。	勧奨後の受診率：16.3%
(4) 特定保健指導事業	特定健康診査受診者のうち、メタボリックシンドロームに関する階層化基準が「積極的支援」または「動機付け支援」の該当者に保健指導を実施。	実施者 積極的支援：68人 動機付け支援：255人
(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病患者のうち、糖尿病関連の検査項目値や治療状況から選定して対象者に対して、専門職が6か月の面接指導と電話フォローを実施。 重症化予防プログラム未参加者への受診勧奨を行う。	対象者：219人 プログラム参加者：11人 完了者：7人

(6) 多受診者指導事業	重複受診者・頻回受診者、重複服薬者に対して面接指導と電話フォローを実施。	指導実施者数：48人 重複受診：5人 頻回受診：29人 重複服薬：12人 重複受診＋頻回受診：1人 頻回受診＋重複服薬：1人
(7) ジェネリック医薬品差額通知事業	先発医薬品の利用者のうち、ジェネリック医薬品通知により医療費の削減が見込まれる対象者へ送付。	平均普及率：75.6%

### 3 実施状況の公表について

市議会議員及び各課への配付、市ホームページでの公表 令和2年10月5日（月）